

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型支援センターすまいる		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18家庭	(回答者数) 14家庭
○従業者評価実施期間	令和8年2月23日		～ 令和8年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性性の高い活動を通して、個々に合った対応や支援を実施している。	他者への興味が高まるように、集団の場を設定しつつ、個別に対応することで、活動の内容や他者への理解が深まることを目指して個々に対応や支援を行っている。	個々の育ちに合わせて、集団活動も取り入れながら、ひとりひとりに丁寧な係わりを行っていききたい。
2	活動の幅が広がるように、遊具が充実してきている。	遊びに偏りのある児童が、様々な活動に興味を持ちやすい環境を作ったことで、要求や活動の幅が広がっている。	感覚的な遊びが充実するように、砂場の整備を行っていききたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に満足いただける活動報告が行えていない。	活動報告は行うものの、表情や楽しみ方の共有が行えておらず、ご家族が望んでいる報告になっていない。	個別の対応が良いのか、一斉での対応が良いのかも考えつつ、満足度が高まる報告を行っていききたい。
2	人員配置基準上の人員を満たす配置は行っているが、充足していると感じている職員が少ない。	個別サポートや強度行動障害の基準を満たしている児童が多く、様々な場面で個別対応が必要な児童が多いため、充足感を感じづらい。	児童の状態に合わせた報酬単価の設定や職員スキルの向上等、様々な課題点を整理しながら、行政や法人との相談や研修体制の整備等を行っていききたい。
3			